

主な内容

12月定例会のあらまし	1
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
議会の動き	3
常任委員会研修報告	4
あとがき	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行

那須烏山市議会

編集

議会広報委員会

事務局

☎0287-88-7114



12月2日開催された第8回那須烏山マラソン大会

12月定例会を12月5日(水)に招集し、12月11日(火)までの7日間の会期で行いました。提出された次の議案等は、すべて全会一致で原案のとおり承認可決しました。

※なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報那須烏山第88号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目(質問順)

- ・専決処分の承認(平成24年度那須烏山市一般会計補正予算(第4号))
- ・那須烏山市定住促進住まいづくり条例の制定
- ・那須烏山市税条例の一部改正
- ・那須烏山市企業誘致及び立地を促進する条例の一部改正
- ・那須烏山市児童生徒を伸ばすすこやか条例の一部改正
- ・那須烏山市郷土資料館及び歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・平成24年度那須烏山市一般会計補正予算(第5号)
- ・平成24年度那須烏山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ・平成24年度那須烏山市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ・平成24年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成24年度那須烏山市下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成24年度那須烏山市水道事業会計補正予算(第2号)
- ・字の名称の変更
- ・那須烏山市農産物等加工処理施設の指定管理者の指定
- ・那須烏山市民ふれあい農園の指定管理者の指定
- ・那須烏山市山あげ会館の指定管理者の指定
- ・那須烏山市龍門ふるさと民芸館の指定管理者の指定

久保居光一郎 議員

- 1 人・農地プランと農業担い手の育成について
- 2 観光客誘致事業の現状と今後の対策について
- 3 シルバー人材の活用に関する提案について

平塚英教 議員

- 1 原子力災害対策指針を踏まえた本市の対策について
- 2 地域・職場・学校の防災力の強化について
- 3 本市の「防災無線」の整備について
- 4 J.R烏山線への蓄電池車両導入について
- 5 本市経済対策の強化について
- 6 子ども医療費助成を「現物給付」方式に

渋井由放 議員

- 1 那須烏山市のPR事業について
- 2 こども読書活動推進計画について
- 3 障害者虐待の防止について
- 4 ホームページについて

高田悦男 議員

- 1 地上デジタル放送難視聴対策について
- 2 新エネルギー等発電の促進について
- 3 入札について
- 4 養蜂振興法改正について

渡辺健寿 議員

- 1 蓄電池電車の導入に併せた沿線活性化対策について
- 2 国道294号線の整備促進について
- 3 学校体育行事の日程について
- 4 グランドゴルフ場の整備計画はデマンド交通について

佐藤雄次郎 議員

- 1 高齢者の見守り対策について
- 2 市の地域防災計画について
- 3 学校教育に暗誦、朗誦を取り入れることについて

樋山隆四郎 議員

- 1 地域活性化について
- 1 農業
- 2 再生可能エネルギー
- 3 在宅介護
- 4 ①②③を柱とした、総合的政策について

川俣純子 議員

- 1 烏山線開業90周年の市としての対応について
- 2 山あげ祭について
- 3 歯科保健条例について
- 4 訪問看護について

佐藤昇市 議員

- 1 小さくてもキラリと光るまちづくりについて
- 2 農業後継者対策について
- 3 防災士について
- 4 職員の人事異動について

田島信二 議員

- 1 小学校スクールバス停の待合所設置について
- 2 七合診療所玄関及び内ドアの自動扉設置について
- 3 道路改修拡幅工事について

- 1 鳥山線開業90周年の市としての対応について
- 2 山あげ祭について
- 3 歯科保健条例について
- 4 訪問看護について
- 1 小さくてもキラリと光るまちづくりについて
- 2 農業後継者対策について
- 3 防災士について
- 4 職員の人事異動について
- 1 小学校スクールバス停の待合所設置について
- 2 七合診療所玄関及び内ドアの自動扉設置について
- 3 道路改修拡幅工事について

12月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第6号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める陳情	なし	不採択

※赤字になっている項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

平成24年12月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。

人・農地プランと農業 の担い手の育成につ いて

久保居光一郎議員

(問) 現在各地域・集落で進めている人・農地プランは、耕作放棄地の増加や就農者の高齢化、また農業の担い手不足等、農業が抱えている重要な諸問題の解決に向けて官民一体となつて取り組むべき施策であると考えている。市長及び農政課にあつては、一過性の説明や方策に留めず、本市の特性を活かした農業の在り方や持続可能な農業および六次産業化に向けての指導支援等について就農者やJA等関係機関と連携を密にして粘り強く取り組んで欲しい。

◎農政課長 人・農地プランの説明会は旧町村単位で行つた。今後とも各集落単位での申し出があれば積極的に説明会を開催したい。また議員ご指摘の農業の六次産業化については今後の課題であると考えている。

(問) 新規就農者の育成お

び確保は喫緊の課題だ。その現状と今後の方策について伺う。

◎農政課長 新規就農者の育成については新規就農に関する規制緩和の要望や地域の受け入れ体制づくり、また青年就農給付金を活用するなどの支援を考えている。

蓄電池電車の導入に 併せた沿線活性化対 策について

渡辺 健寿議員

(問) JR烏山線に平成26年春導入の新型電車運行に併せて沿線の活性化対策としての花公園化、駅周辺の美化、観光ルート化を伺う。

◎市長 世界的にも最先端のエコ車両の導入で観光振興と地域活性化にまたとない機会。烏山線の利用向上と蓄電池駆動システムのPRを兼ね、沿線観光地を中心とした花公園化構想を検討する。JR東日本や烏山駅等関係機関と連携し官民挙げた体制で取り組む。

◎総合政策課長 関係課で協議し、25年度予算編成に向け熟度の高い事業の手法を検討する。

(問) 駅の美化と併せ駅名に愛称はどうか(例・大金いかんべ駅、烏山山あげ駅など)。また、今作成中の観光チラシ「るるぶ」に蓄電池車、メガソーラーなどのイメージも載せてはどうか。

◎市長 駅前駐車場、駐輪場及び駅前整備も地域や関係機関等の意向を反映させながら方向性を検討する。



大金駅前

山あげ祭について他

川俣 純子議員

(問) 山あげ祭の人員のデータ管理を市で一括にできないのか。二つ、烏山高校の協力を得られるよう、市として依頼することはできないのか。三つ、祭典中の道路の使用許可申請について警察との交渉を市が一括して行うことはできないのか。

◎市長 人員管理は山あげ祭ボランティア人材バンク創設に向けた調整の中で検討する。烏山高校には、祭りの各関係者と協議し合意形成を図りながら、申し入れしていく。道路許可は関係機関と調整し、実現の可能性について研究していく。

(問) 全国で歯科保健条例の制定が進んでいる。栃木県でもすでに日光市が制定している。むし歯や歯周病の早期発見により、治療軽減、全身疾患の軽減にもつながる。市の条例制定に對

新たな観光資源の発掘にも取り組み、魅力ある観光ルートの開発を進める。

する対応を伺う。

◎市長 条例制定に向け検討する。また、歯科保健の重要性を認識し、事業の強化を図るとともに、予防の普及啓発活動等に取り組んでいく。

原子力災害対策指針 を踏まえた本市の対 策について

平塚 英教議員

(問) 原子力規制委員会は原子力事故発生時の原子力災害対策重点区域を原発の半径30キロ圏としたが本市は東海第2原発から30数キロしか離れていない。本市も原子力災害対策指針を踏まえて、最悪の事態を想定した対策・防災マニュアルを策定すべきである。

◎市長 本市は最悪の事態を想定し、3月には危機管理マニュアルの中に原子力事故を想定した暫定対応行動計画を策定しているが、国の原子力災害対策指針を踏まえて緊急時防護措置を準備する区域に準じた対策を盛り込む必要があり、本市危機管理マニュアルを暫定でない行動計画に修正して年度内には地域防災計画に原子力対策編を策定する予定である。

(問) 原子力災害で本市管内で役場庁舎を維持することができない場合に暫定計画では交流している都市に移す計画だが実際に受け入れの交渉は行っているか。

◎危機管理室長 本市と防災協定を結ぶ埼玉県和光市、東京都豊島区にお話

高齢者の見守り対策 について

佐藤 雄次郎議員

(問) 本格的な高齢社会を迎え、核家族の進展や認知症の高齢者の増加、地域社会との希薄化などから高齢者が必要な支援が受けられず問題は深刻である。高齢者の安心を支える見守りや生活支援ネットワーク構築が必要と考える。市の対策を伺う。

◎市長 見守り対策としては、平成19年度に「高齢者見守りネットワーク事業」を始めており、民生委員、自治会、商店、金融機関などの民間事業所、郵便局、官公庁など286人が登録し、高齢者を見守るネットワークを構築している。これは、日常の中で地域のお年寄りに目をかけていただき、変わったことがあれば「地域包括支援センター」や「社会福祉協議会」へ連絡し、適切な支援や対応を行うものである。また、市では地域で包括的にケアする体制を充実するため、医療や介護、住民のニーズに対応した「地域包括ケアシステム」を実現するため、地域連携体制を推進したい。

◎市長 ふるさとへの愛着と一体感の育成を目指し、心をつなぐことで地域の発展を目指すことは、極めて重要と考えている。今後、制定に向けた議論を進めていきたい。又、市の歌についても、前向きに検討したいと考えている。

(問) 防災士育成について伺う。

◎市長 社会のさまざまな場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待されている。市が積極的に推進している自主防災組織にもつながるものである。災害発生時の初期対応と平常時の訓練など、地域の防災リーダーとして活躍が期待されることから、自主防災組織や消防団など、防災士資格取得の支援と配置の方針で検討したいと考えている。

て原子力災害の暫定的行動計画を策定した。

になつている。7年経過した現在、早急に制定すべきと思うが、市長の考えを伺う。又、市の歌の創設についても、考えを伺う。

◎市長 市民憲章は、新市において定めるものということ

障害者虐待の防止に ついて

渋井 由放議員

(問) 「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が施行をされた。進め方について市長の考えを伺う。

◎市長 10月に「那須烏山市障害者虐待防止センター」を健康福祉課に開設し業務を行っている。

(問) 不況の中で障がい者の皆様は仕事がないのが現状

で保護者の皆さんも大変である。障がい者の皆様が行っているものを優先的に購入する法律があるが何というか。

◎健康福祉課長 国等による障害者就労施設等からの物品等の調達を推進等に関する法律」内容は、国等が率先して障害者就労施設等からの物品等の調達を推進することや必要な措置を講ずることを定めたもので、平成25年4月1日から施行される。

(問) 那須烏山市には、障がい者施設のパン屋さんが2カ所ある、学校給食で優先的に購入したらと思うがどうか。

◎教育長 法的なものもあるので検討しながら、対応できるような努力を続けていく。



障がい者施設のパン屋

地域活性化について

樋山 隆四郎議員

(問) 再生可能エネルギーに関して、那須烏山市の恵まれた太陽エネルギー、また那珂川、荒川、江川の豊富な水をどのように利用し、どのように地域活性化につ

なげるのかを伺う。

◎市長 太陽エネルギーについてはメガソーラー発電事業2カ所決定。1候補交渉中。メガソーラー事業は雇用の確保、税収アップ、財政基盤の強化等地域活性化につながるものとして積極的に進めたい。水力については県が栃木発再生可能エネルギービジネスモデル創造特区として地域活性化総合特区の指定を受け農業用水路を利用した小水力発電の実用化に向けた調査研究中。国土交通省は小水力発電機を農業用水路に設置する際の手続きを簡素化し水利権を持つ農家の同意が得られれば国、県の許可不要の方針が昨年8月決定した。小水力発電の普及拡大の動きは活発化している。本市としても、国や他市町村の動向を十分に注視しながら新エネルギー確保に向けた調査研究を進める。

道路改修拡幅工事に

ついで

田島信一議員

(問)八溝グリーンラインより那珂川町白久に向け、道路拡幅工事が着工されようとしているが、本市白久住民へ行政から説明はなされているか伺う。

◎市長 先頃那珂川町から共同整備の協力依頼があり、早急に測量調査等進めると共に、地域住民への説明会を開催し、意向確認しながら整備する。

◎都市建設課長 交差点部分の設計は難しい。八溝グ



歩道のない七合診療所脇の道路

リーラインの当該道路との交差点部分は、交通事故の多い箇所です。平成20年度から2カ年で事故のないよう整備し、経過を見ていた状況もある。その検討などで説明が遅れた。

(問)七合診療所となりの薬局出入口は左右土手で見通しが悪く歩道もない。交通事故のないよう安全対策を願う。

◎市民課長 診療所と国道の境界はのり面の上になっており、のり面は県の土地である。市長指示もあるので都市建設課並びに県の土木事務所と協議の上、歩道整備、道路拡幅に向け協議したい。

新エネルギー等発電の促進について

高田悦男議員

(問)新エネルギー・再生可能エネルギーの本市内においての可能性ある発電方法としては太陽光、小水力、バイオマス燃焼などがあるが市の対応について伺う。バイオマス燃焼発電是那珂川町において製材事業者が

平成26年3月、2千キロワットの発電開始を目指し計画を進めている。製材屑や利用されなかった間伐材など年間5万トンの乾燥チップが必要。竹も利用できると聞く。建築廃材は利用しない。個人が軽トララック等で持ち込む場合は重量に応じて商品券で支払う方式と聞く。林業活性化のためにも商品券やストックヤードなどの支援策を求める。

◎市長 那須烏山市サンライズプロジェクトを展開し、メガソーラーをはじめ再生可能エネルギー発電設備についても企業立地奨励金に追加し積極的誘致を進めていきたい。

那珂川町を含めた広域的な林業活性化の一環として森林組合との調整を図りつつ本市における資源の供給について検討していく。

12月議会の本会議日程と傍聴者数

Table with 3 columns: Date, Content, and Audience Count. Rows include dates from Dec 5 to Dec 11 and a total count of 50 people.

Main Question section with a large title '主な質疑' and a list of 12 items for the council meeting.

定住促進住まっぴり条例の制定について 議員 従来の制度に市内業者の利用加算がプラスされ最大40万円の補助となるが、市内業者利用加算の対象は新築のみか。

児童生徒を伸ばすこやか条例の一部改正について 議員 表彰マニュアルを明確に作らねばならないか。

郷土資料館及び歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正について 議員 震災で被災した南那須歴史民俗資料館の解体はいつか。

企業誘致及び立地を促進する条例の一部改正について 議員 企業立地奨励金の限度額は。 総務課長 限度額は無く固定資産税相当額を新設の場合6年間交付。

指定管理者の指定についで 議員 山あげ会館、ふるさと民芸館の指定管理料が前より高くなっているが説明を。

行財政改革特別委員会 議会には、議案等を審査する権限(審査権)があり、各常任委員会において、決算や予算、市の行財政の運営や事務処理等が適切に行われているかを審査しています。

生涯学習課長 1月中旬に終了予定である。 議員 那須南病院関連予算の内容は。

Meeting Movement section with a title '議会の動き' and a list of dates and activities from Dec 5 to Dec 27.

平成24年度一般会計等の補正予算について 議員 那須南病院関連予算の内容は。

郷土資料館及び歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部改正について 議員 震災で被災した南那須歴史民俗資料館の解体はいつか。

企業誘致及び立地を促進する条例の一部改正について 議員 企業立地奨励金の限度額は。 総務課長 限度額は無く固定資産税相当額を新設の場合6年間交付。

児童生徒を伸ばすこやか条例の一部改正について 議員 表彰マニュアルを明確に作らねばならないか。

定住促進住まっぴり条例の制定について 議員 従来の制度に市内業者の利用加算がプラスされ最大40万円の補助となるが、市内業者利用加算の対象は新築のみか。

生涯学習課長 1月中旬に終了予定である。 議員 那須南病院関連予算の内容は。

研修報告

総務企画常任委員会

総務企画常任委員会は平成24年11月5日～6日に山梨県道志村及び南アルプス市を訪問して視察研修を行いました。道志村は神奈川県相模原市等に隣接する東西に細長い山あいの人口約19000人、600世帯の村です。都市から観光客が年間100万人と40年前から観光立村を推進しています。しかし、山間部の為、ブロードバンドがほぼゼロの地域で防災無線も難聴地域が多く、災害時の孤立化、独居老人等の増加、若者の都市部への流出を防ぐ為に、総務省等の助成を受けて道志村情報通信基盤整備事業に着手したとの事です。

①ブロードバンド提供事業者と契約を結び、都市との情報格差是正を図り情報通信基盤の整備②行政情報提供システム事業に93%の世帯が加入し、光ファイバーを利用して行政情報の告知、にっこりコール光センターを拠点に独居の方、高齢者等に定期的に声をかけ、安否確認、生活全般の相談業務の内容を実際に研修しました。次に南アルプス市は山梨県最西端の平成15年に4町2村が合併した人口約7万3千人の市です。



道志村職員の説明を受ける委員

同市が合併して10年目を迎えて、国からの交付税算定替に伴う減額が予想される中で本格的な行政改革が必要という事、特に公共施設を身の丈にあった適正配置と持続可能な運営が図れるよう総量抑制を進めるといふ事で同市の公共施設432施設を目的や利用状況、市全体のバランス配置、耐用年数、管理運営費などを総点検する白書を作成し、どのように集約を図るかの方針を出して各地域ごとに市政説明会を実施しているとの事です。さらに同市の自然エネルギーの導入として公共施設への太陽光発電システムの現状や木質バイオマス、小水力発電事業の説明を受けました。本市に生かせる充実した研修内容でした。

総務企画常任委員会
委員長 平塚英教

研修報告

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会では11月26日～27日に長野県佐久市にある厚生連佐久総合病院における地域医療活動と諏訪市における子育て支援の取り組みについて視察研修をして参りましたのでその概要を報告いたします。

J A 佐久総合病院は病床数が附属分院を含め1214床と大規模な病院であり、高度専門医療と地域密着医療の部門が両立されているのが特徴です。各地にある国保診療所に常勤医師を派遣し、包括支援センターや複数の訪問看護ステーションとの連携を図り訪問診療、訪問看護も充実しています。高度医療を担う本院と行政や福祉施設、住民組織とともに地域密着型の小回りの効いた医療を担うサテライト、重層的多層的なネットワークで地域の保健医療福祉を支えています。また、東日本の病院では初のドクターヘリを所有し緊急患者の対応に当たっており、まさに医療活動の先端を行っていることに感銘しました。

翌日は諏訪市役所において諏訪市における子育て支援の取り組みについて研修いたしました。諏訪市は精密機器、電機産業の企業が多く立地し、女性労働者の進出も多く子育て環境の整備が急務とされていたこともあり、NPO法人の運営する「すわ子育て支援ネットワーク」を核としたファミリーサポートセンター事業を取り入れました。これは、子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かりや送迎等の援助を受けることを希望する者(お願ひ会員)と、有料でその援助を行うことを希望する者(まかせて会員)とのネットワークを構築するという事業です。また、このほかにも、病児・病後児の預かり保育を行っているなど各施策から子供を生み、育てる環境づくりが確立されていることが何え大変参考になりました。

文教福祉常任委員会
委員長 板橋邦夫



佐久総合病院玄関前で副院長と

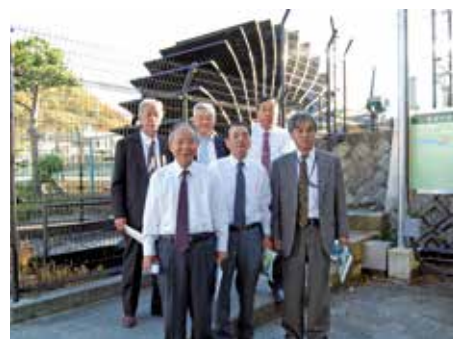
研修報告

経済建設常任委員会

経済建設常任委員会は、11月12日は山梨県都留市において「市民協働による小水力発電について」また翌13日には北杜市で「北杜サイト太陽光発電所」と「村山六ヶ村堰水力発電所」の視察研修を行いました。その概要について報告いたします。

リニアモーターカー実験線の拠点基地があることで知られる都留市は、環境省「21世紀環境共生型住宅モデル事業整備による建設促進事業」において市民協働によりコンセプトを決定した「小水力発電のまちエコハウス」とともに都留市の特性を活かしたエコライフの普及啓発に取り組みんでいます。その拠点である都留市エコハウスで担当者から、小水力発電とエコライフについての研修を行いました。その主な内容は、市庁舎前を流れる家中川に発電能力20キロワットを有する直径6センチの木製水車(元氣くん1号)をNEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)の新技术の導入事業として全国に先駆けて実施したことやエコライフ推進のために「アクアバレー」構想の策定や豊かな環境を守り育て後世に継承

し、健康的で環境の持続性を大切に市民のライフスタイル確立と地域産業の振興に繋げる「エコロジカル・バランスタウン」を目指しているとのことでした。研修後は家中川小水力市民発電所と植物栽培設備展示施設の現地視察を行いました。



都留市の木製水車「元氣くん1号」

北杜市においては、NEDOの委託事業として国家プロジェクトである大規模電力供給用発電系統安定化等実証研究施設の「北杜サイト太陽光発電所」と「村山六ヶ村堰水力発電所」の視察研修を行いました。この度の研修で得た知識を活かし、本市の自然環境に適した太陽光発電や再生可能エネルギー対策等について考察したいと考えています。

経済建設常任委員会
委員長 久保居光一郎

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。くわしくは、議事事務局までお問い合わせください。(☎0287-8817114)



3月定例議会は、3月5日(火)開会予定です。

※正式な日程は、2月27日に開催される議会運営委員会で決定されます。

あとがき

皆様方には、健やかな新春をお迎えのことと存じます。議員一同心からお喜び申し上げます。さて、本市は人口減少と厳しい財政運営が続いており、昨年は明るい話題もありました。高瀬トンネルの開通と、平成26年からJR烏山線に蓄電池搭載の新型電車が走る事が決定したことは朗報と存じます。

一方、市議会では開かれた議会を目指し、改革を進めているところで、そのひとつとして、議案裁決の結果について、賛成反対それぞれの議員の実名を「議会だより」や「ホームページ」において公表しております。

これまでは、賛否それぞれの数だけを公表していましたが、先進自治体の例にならい当市でも一歩前進します。

国政では再び、自民党政権に戻りましたが、内政に外交に課題は山積しております。選ばれた国會議員は、今回の公約を選挙向けの宣伝に終わらせることなく、約束を果たすべきと存じます。

市議会でも選挙で掲げた公約実現のため、全議員が全力を挙げ取り組みをお約束し、年頭のご挨拶とします。

(議長 中山五男記)